

OSAKA・II ZONTA CLUB

大阪Ⅱ ゾンタクラブ第57号 (2024年3月)



Eメールアドレス : d26osaka2@zonta-d26.jp

ホームページ : <https://osaka2-zonta.com/>

巻頭言

クラブ創立30周年に寄せて

会長 坂本 千代



1993年8月に国際本部から正式に認証され、94年3月に認証状伝達式・祝賀会を行なった大阪Ⅱゾ
ンタクラブは今年度に創立30周年を迎えました。現在の会員数は23名、創立当時とあまり変わっていま
せん。チャーターメンバーも10名います。

大阪Ⅱゾンタクラブの特徴はなんでしょうか。女性と女児の地位向上・状況改善のために努力するとい
う目標のほか、関西のクラブであるということから、最近では関西の文化や伝統を学び、広め、応援してい
くことにも力を入れています。30周年記念として一般社団法人人形浄瑠璃文楽座にも特別寄付をさせてい
ただくのはその一環です。そのほか移動例会で関西の名所旧跡(近年では、西は須磨、東は奈良)を訪ねたり、
関西モダニズム時代の大阪や芦屋を舞台にした谷崎潤一郎の『細雪』を会員有志の読書会で取りあげたり(現
在はユゴアの『レ・ミゼラブル』を読んでいます)と、自分たちの暮らす地域とその人々についての知識
を深めようとしています。

私自身について思い返してみますと、1998年9月に大阪Ⅱのチャリティイベント(講演とコンサート)
で「ジョルジュ・サンド 女性の自立、ショパンとの愛」という講演をしたのがゾンタとの最初の出会いと
なり、2006年に入会しました。2010年代は仕事の忙しさもあって、例会に出るのがやっと(それも時々欠
席)という状態でしたが、分野の違う仕事や活動をしている会員とおしゃべりするのが楽しくてなんとか続
ける事ができました。そして、3年前に定年退職をしてからは、本格的にクラブの活動に打ち込めるよう
になり、現在はゾンタライフを満喫しています。気の合う仲間といっしょに楽しく活動し、学び、そして少
でも世界の困っている女性たちの役に立てたら嬉しいと思っております。

皆様、これからも大阪Ⅱゾンタクラブをよろしく願っています！

地区大会報告

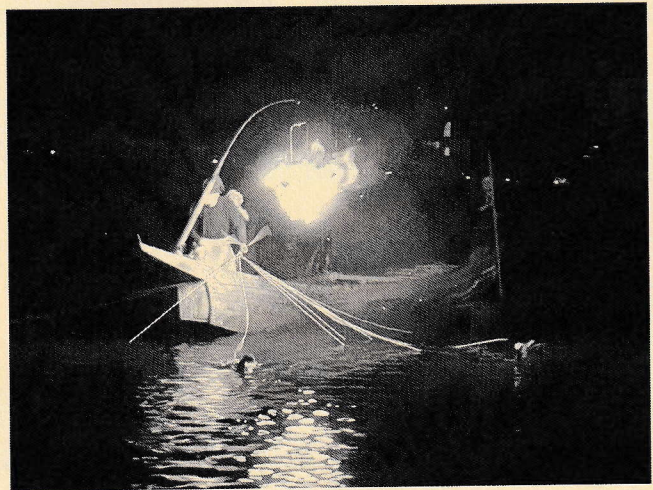
内藤 恵子



名古屋城の金の鯨鉾を見ながら、名古屋能楽堂に来ました。リーダートレーニングに会長が集まり、名刺交換などの交流がありました。前夜祭は日本舞踊、お能、たたら舞と古典舞踊でした。お着物の参加者が多く、華やかでした。晚餐会は、エリア1は神部ディレクターのマジック、エリア2は生年月日を使ったゲーム、エリア3は、滋賀の有志によるコント、エリア4はピアニストの演奏をされました。最終日には、幻想的な鶺鴒いをウテ会長と楽しみました。最後の日、朝食会場でウテ会長がガバナーを探して困っておられたので、私のテーブルにお誘いしてガバナーを待ちました。1時間して来られないので電話したら、失念しておられ、すぐ来られました。でも、私たちはウテ会長と写真を撮ったり談笑でき、ブリスベンでお会いする約束ができ、幸せでした。ウテ会長はiPhoneの翻訳アプリで、日本語の会議も聞いておられました。すごい集中力です。お人柄に触れ、感服しました。



国際会長とガバナー



鶺鴒い



第17回地区大会第1日目報告

笠置 伸子



「女性と少女のためのより良い世界を築く」10月6日(金) 12:30～19:30

第17回地区大会が2023年10月5日(木)～7日(土)の間、東京Ⅲゾントクラブ、名古屋SORAゾントクラブ、岐阜ゾントクラブ合同主催で浅野万里子ガバナーのもと名古屋観光ホテルで開催されました。開会式は時間厳守で開会宣言、国歌(日・独)斉唱、ガバナー挨拶、来賓祝辞とつづがなく進み、その後に愛知県副知事から祝辞、それに続き国際会長からの挨拶を受けました。

報告事項 ガバナーのお願いとして、ガバナー通信をネット上の管理に移行する計画で、クラブ名を入れたメールアドレスを作る。
副ガバナーからは、紙の会員名簿の作成を止めて、ネット上に作成する。
地区会計から決算報告、中間報告受けました。
エリアディレクターから、各4エリアの活動報告を受けました。

地区顧問活動報告 上期10月1日現在、38名の新入会員を迎えた。
鳥取ゾントができる予定。
Eクラブを作り、オンラインで活動。
ゴールドデンGクラブの卒業生を入れて、Eクラブ作る。

委員会活動報告 各委員長14人から順番に報告を受けた。

基調講演 Ute 国際会長による『共に、女性と少女のためのより良い世界を築く』

『戦略計画の目標と戦略』

- 世界で1300万人の少女が、教育を受ける権利を奪われている
- ベルギーの少女の教育問題と健康と保護
- マダガスカル気候変動 モザンビークの経験から気候変動により大きなサイクロンが来て土地を失い村が貧しくなり、その結果が児童婚に結び付く ジェンダーの不平等を増幅
- 児童婚をなくすグローバルプログラムでは大きな貢献をしている
- 教育プログラム
- 3人に1人がパートナーからの暴力を経験
- 女性と少女を取り巻く世界の現況と気候変動によるジェンダーの不平等を増幅

優先事項 会員増強 新しいクラブの設置、多様性の拡大 新しい才能発掘
ゾントクラブの新しい未来のリーダーを育てる
可視性拡大 知名度向上は一人一人の努力から始まる
会長が2年ごとに変わってもゾントの目標は2030年までの展望を決めてそれに沿ってやる。明確な戦略計画目標を持って次の100年に向けてこれを決める

戦略 1, 信頼性と発言力
2, クラブの成功
3, リーダーシップの持続性・可能性
4, バイロースの変更が簡単にでき、今の時代に合ったバイロースを作らなければならない

重要課題 1, 1990年から毎年3%～5%の会員が減っている
2, 新入会員の50%は6～7年後には退会している
3, 奉仕団体として活動し始めたが、アドボカシー団体の方が若い人にはよりアピールする
4, バイロースを見直さなければならない。例えば5名の会員のクラブから80名の会員のクラブまで同じようにバイロースを使わなければならないが、変更は大変な時間がかかり変えられない

「国際ゾントのウェブサイトを見て理解してくれるように！」
会長の講演が締めくくられた。

記念講演 講師：辻愛沙子氏(株)arca代表取締役/クリエイティブディレクター)による日本の女性の実態が講演された。27歳の若さで会社を起業した帰国子女であり、グローバルな思考で世界情勢を分析して、とても素晴らしい、日常生活の中で気が付かない盲点ばかりを指摘した内容で、有意義な時間でした。

その後にビジネスセッションに入り、大会委員長任命の発表、登録委員会報告等をへて選挙、スピーチに入った。指名委員会報告、立候補者紹介、次期役員と5名の指名委員立候補者スピーチが行われた。

私事の時間の都合で大変申し訳ございませんが、各立候補者のスピーチを聞いて会場を出ました。とてもスピーディで内容の充実した地区大会第1日目でした。

地区大会第2日目（10月7日）の報告

坂本 千代



朝 8時から8時30分まで名古屋観光ホテル2階のロビーでメモリアルサービスが行なわれました。2022年7月から23年8月までに亡くなったゾンシャン8名への追悼の言葉が述べられ、献花ののち、ドヴォルザークの合唱「家路」を皆で歌いました。短いけれど心に染みる良い式でした。

8時45分からビジネスセッション②が行なわれました。2024-2026地区会計予算案承認のあと、審議事項の検討がなされ、次の5件が決まりました。

1. 地区名簿登録内容については、個人の登録基準で登録出来るとの明文化が必要である
2. 26地区におけるe-clubへの取り組みについて
3. エリアの地理的区分は現状のままで、経済的区分に於いて全エリア費を4等分する
4. Young professional会員の地区費・エリア費・地区大会分担金を次期より半額にする
5. 国際ゾンタ26地区規約

このあとの昼休みに選挙・投票が行なわれ、大阪Ⅱゾンタクラブのデリゲートである私も投票をすませました。午後は13時から同じ会場でZ&GZクラブサミットが開かれました。最初にその講師として招かれた衆議院議員の野田聖子氏のお話が1時間ほどありました。まだまだ男性社会である日本の議会の現状やご自身の活動のことなどとても面白く聞きました。そのあと、各Z&GZクラブの代表たちの活動報告がありました。

15時30分からは選挙結果報告があり、次期のガバナー、副ガバナー、地区会計、4つのエリアのエリアディレクターが決まりました。指名委員に関しては、5人の候補者のうち上位3名が選出されました。大阪Ⅱ推薦の内藤会員は、たいへん残念ながら4位でした。そのあと、Z&GZクラブサミット成果報告、ゾンタ女性財団への寄付贈呈式のあと、ウテ・ショルツ国際会長からの総評をいただいて閉会となりました。

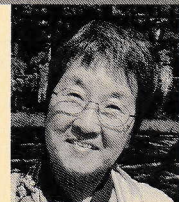
全体として、とてもよく準備された地区大会でした。私は大勢の他クラブ会長や会員と言葉を交わし、名刺交換もできました。実り多い会議であったと思います。

なお、前日10月6日の晩餐会で大阪Ⅱ代表として籤を引いたところ、豪華なチョコレートがあたりました(写真をごらんください)。このチョコレートは例会で会員に配りました。



卓話「SACHICOから見える性被害の実態」について

牛田 三千子



2023年9月7日、厳しい残暑の続く中、例会卓話にSACHICOの代表加藤治子様、理事長久保田様、運営委員生魚様のお三方をお招きし活動の現状をお聞きしました。SACHICOは2010年阪南中央病院の加藤先生が院内に性暴力救援センター大阪を立ち上げられスタートしたものです。その基本理念は性被害にあった女性に対する、被害直後からの総合的・継続的な支援です。そのため24時間体制のホットラインを設け、24時間常駐の支援員が身体と心のサポートを行います。ただ一年に400人(2022年度)以上の性被害者の身体と心のケアをすることは簡単なことではありません。まず人手不足の問題です。公的な支援が増え、支援員の方が物心ともに余裕をもって被害にあわれた方々への対処ができることが望まれます。

私たちが初めてSACHICOのことを知ったのは、今から10年も前のことです。ゾンタの地区奉仕委員会からのお知らせで、ドーンセンターで行われた「性被害を考えるシンポジウム」に西村会員と一緒に聴衆として参加したときが初めてでした。当時まだ設立まもないSACHICOという名前に、「さちこ」という方が設立された組織かと勘違いしてしまいました。正式には性暴力救援センター大阪(Sexual Assault Crisis Healing Intervention Center Osaka)の頭文字を取った名前です。当時日本中で最も性暴力被害が多い大阪で、世界中で実践されているレイプクライシスセンター(RCC)を作ろうという声が医師・弁護士・看護師などの間から起こり、苦勞の末性暴力救援センターSACHICOが大阪からスタートしました。

このようなワンストップセンターの誕生により、警察、弁護士、精神科医師、カウンセラーなど必要な機関への連携がスムーズになり、あちこちの役所をたらい回しされることがなくなりました。今では形態や程度の差はありますが各都道府県に最低1か所はワンストップセンターが置かれています。そのさきがけがSACHICOであったことは、大阪に拠点を置く私たち大阪Ⅱゾンタクラブにとっても誇らしいことです。

ただ、今後の難問は山積し公的支援を増額してもらえないことについては、莫大な防衛予算のほんの一部でもこちらに回してもらえたら、と思ってしまう。センターの所在場所についても病院内の一室の間借りではなく、もう少し広くくつろげるスペースがあればと願わずにはいられません。加藤先生も直接知事さんに働きかける道は遠い、と嘆いておられました。

私たちはこのSACHICOに設立30周年の記念寄付をさせていただくことになっています。この寄付によって性被害にあわれた方々が身体や心の傷から回復されるまでの継続的な支援のささやかな一助になることを願ってやみません。



右が加藤先生

移動例会

秋の移動例会 (2023.11.15)

徳光 正子



秋の移動例会は文楽劇場。来年の30周年の祝いの三番叟を世界遺産でもある文楽でお願いしていることもあっての鑑賞会。大阪で生まれ大阪で育った文楽。まさに大阪ならではの舞台となることだろう。

今回の演目は「双蝶々曲輪日記」。私は初めて観る演目だった。「堀江相撲場の段」では実際の人気力士濡髪ぬかみの長五郎がモデルと言うから相撲の取り組みがあるのかしらと思っていた自分に笑ってしまった。力士濡髪は、享保の頃の人で喧嘩のとき水を湿らせた紙を額に当てて手拭いを被り、刀よけをしたところから「濡れ紙」とあだ名されたらしい。義理と人情に揺れ動く家族関係を文楽の世界が堪能させてくれる。特に「八幡里引窓の段」は印象深かった。十三代目仁左衛門は「芝居譚」の中で「この芝居はすべての人間が母親の情けを察して行動する義理の芝居ではなく人情の芝居です。」と説明しておられる。なるほどと納得した。

私は太棹三味線の音色も好きである。切場は、来年若太夫を襲名される豊竹呂太夫さん。重鎮が亡くなったり引退される中、こうして次の世代が頑張っておられる事は、まことに嬉しく頼もしい。大阪ならではの文楽、私たち大阪のゾンシャンも微力ながら今後も声援を送り、未来に期待したいと心から願っている。

もうひとつは「面売り」。おしゃべり案山子の言い立てに合わせ、面売り娘が面を替えて踊る。楽しい舞台だった。

終演後は、三林京子さんのお心遣いで、思いがけず勘十郎さんが、ご挨拶に来て下さり、特製のカレンダーまで一人一人にプレゼントして下さいました。とっても感激。人間国宝でいらっしゃるのに、いつも気さくで誠実なお人柄にまた感動。

その後、私達は舞台の余韻に浸りながら道頓堀の千房へ向かいました。流石、日曜日の南、街には外国の方々もいっぱい。遅めのランチは、サラダ、海鮮、肉のステーキにお好み焼きのコース。お腹いっぱいになり大満足。若いスタッフのマヨネーズかけパフォーマンスもあり、賑やかに楽しい例会で締めくくりました。

寄付先紹介

社会福祉法人関西いのちの電話創立50周年にて

西村 博子



1973年9月に開局された関西いのちの電話は、創立50周年を迎えられ、その記念式典が9月23日(土・祝)に大阪YMCA会館で行われました。記念講演の後、感謝式が行われ、私たち大阪IIゾンタクラブは、長年にわたる支援団体の一つとして感謝状をいただきました。当日は坂本会長と西村が出席いたしました。



感謝状を受ける坂本会長

2008年9月例会で当時の事務局長八尾和彦氏に卓話をお願いいたし、支援の寄付が始まり、毎年続けて15年になります。その間もう一度大阪Iゾンタクラブとの共催で、当時の事務局長田尻悦子様にも卓話をお願いいたし、当時の最新の電話相談事業のお話を伺いました。名前は関西ですが、大阪での活動です。眠らぬダイヤルとして昼夜を問わず、1年中一日も休むことなく電話相談がされています。2年間トレーニングを受けた相談員がボランティアでその事業に携わっています。コロナ禍のなかですが、相談件数は年間2万件ぐらいあります。混迷する現代社会の中でとても必要な事業で、クラブとしては長期にわたる関わり、熱いところを持って寄付をいたすことができていることに感謝いたします。

2024年5月に移転が決まっており、新しい拠点を契機にしてさらにその活動を発展させていかれることでしょう。

新年会

2024年新年会

笹岡 厚子



1月11日木曜日に、長年にわたり例会に使用していましたがイタリアンレストランベラコスタの後に新装開店したフレンチレストラン THE RAY で新年会が行われました。お席はホテル側の配慮か前の会合と同じ部屋に用意されていましてデジャヴに一瞬陥りそうでした。

お料理はがらっと変わって創意工夫に満ちたフレンチで食べるのが惜しいような絵画的美しさに溢れていました。店内のインテリア、食器も含め新しいシェフ倉員直樹さんの豊かな感性が端々に感じられました。美味しいお料理を頂きながら色々な話に盛り上がるうちにあっという間に時間が過ぎていきました。



新入会員紹介

自己紹介

内田 智子



2023年10月に入会の内田智子と申します。もともと何かボランティア活動に参加したいと思っていましたが、内藤恵子先生とお知り合いになることができ、ご紹介いただいて入会させていただくことになりました。先輩ゾンシャンの皆さまはどなたもエネルギーで暖かい方ばかりで、素晴らしい会に入れて頂けて光栄に存じます。

私は薬学部を卒業し外資系の製薬会社に勤めておりましたが、主人のアメリカへの留学時に会社を辞めてワシントンDC郊外のメリーランド州に3年住んでいました。そこではコミュニティーカレッジに通い、英語を母国語としない人向けの英語の講座に通って、イラン人やパラグアイ人、中国人やロシア人の友達を作って異文化交流をすることが出来ました。アメリカでは車も運転していましたが、今の私では考えられないほど行動的でした。その後日本に戻って子供が出来たのと同時に主人の実家の診療所を継ぐことになり、怒涛の日々を過ごしてまいりました。特に最近のコロナの3年間は、アルコールやマスクなどの物品の確保からはじまりワクチン接種、発熱外来の対応など目まぐるしかったですが、実際に患者さんの役に立つ事が出来ることは私の原動力になりました。海外旅行は以前は好きで、アメリカからペルーやメキシコにも行きましたが、帰国してからは10年前にグアムに行ったきりです。一人息子が大学生になってこれからは少しずつ行動範囲を広げたいと思っていますが、まずは自分の身近なところからと思っています。

入会させていただいてから二度も卓話で生の声を聞かせていただく事が出来、ゾンタの活動内容を知る事が出来たのもとても有意義でした。今後ともよろしく願いいたします。

編集後記

今年は辰年。中国では古来より昇り龍とも言われるように、成功や発展の象徴として縁起が良いとされるようです。当クラブも創立30周年を迎えます。みなで力を合わせ前進してゆきたいものです。皆様のご協力を得て編集もスムーズに進みました。感謝します。

徳光 正子